

2026年3月27日
株式会社化学工業日報社

化学工業日報社、エンソート合同会社と共催で「2026 R&D イノベーションサミット」を6月4日（木）に開催：参加費無料（登録制）

～DXからインテリジェンス・ドリブンへ 科学的 R&D イノベーションの次代～

株式会社化学工業日報社（本社：東京都中央区/代表取締役社長：佐藤 豊）は、エンソート合同会社（所在地：東京都港区）と共催で、2026年6月4日（木）に赤坂インターシティコンファレンス（東京都港区）にて「2026 R&D イノベーションサミット」を開催いたします。

2026 R&D イノベーションサミット

現在、下記より参加登録お申し込みを受付中です。※参加費無料（登録制）

HP:[R&D イノベーションサミット 2026 | エンソート](#)



2026 R&D イノベーションサミットについて

本イベントは化学・材料・ライフサイエンス・半導体、エネルギーなど分野における R&D・研究開発のリーダーや研究者、経営層に向けて AI 活用やマテリアルズ・インフォマティクス（MI）の最新トレンドや実践事例を共有する場としてエンソートが主催しております。

2026 年は科学分野の複雑な企業 R&D の課題解決においてデジタルトランスフォーメーション・AI ツールを設計・提供を推し進めてきたエンソートの創立 25 周年という節目の年にあたり、次代の研究開発イノベーションを展望する特別記念版として開催されます。

化学工業日報社は化学産業の専門メディアとして、エンソートが主催する本イベントにおいて業界の発展と変革を後押しする議論の場を提供してまいります。

「2026 R&D イノベーションサミット」開催概要

日時：2026年6月4日（木）14:00～19:30（13:30 受付開始）

場所：赤坂インターシティコンファレンス（東京都港区赤坂 1-8-1 赤坂インターシティ AIR 3F・4F）

[赤坂インターシティコンファレンス AICC](#)

対象者：研究開発を競争力の源泉とする企業の管理職、研究者、DX推進リーダー、経営幹部の方を優先（対面での深い知見共有を重視するため、席数に限りがございます）

参加費用：無料（事前登録制）

主催：[エンソート合同会社](#)

共催：株式会社化学工業日報社

■ ご登録はこちらから

[R&D イノベーションサミット 2026 | エンソート](#)

【開催背景】

AIの進化が加速する一方、R&D領域では最新AIがもたらす『真の可能性』と現状の研究手法との間に大きなギャップが生まれつつあります。日本企業はこれまで高度な技術力とモノづくりで競争優位性を築いてきましたが、多くのR&D組織は依然「AIが進化する前」の時代に最適化されたままです。開発期間の長期化、技術継承、人材不足といった課題も顕在化する中、AIやデータ活用を軸とした研究開発プロセスの変革が求められています。

【本イベントの見所】

「DXの先」を定義する新概念：「科学的 R&D」のインテリジェンス・ドリブンへの転換

効率化を目的とした従来のDX（デジタル・トランスフォーメーション）を超え、AIが自律的に仮説生成や意思決定を支援する「インテリジェンス・ドリブン」なR&Dの全貌を提示。科学的イノベーションを推進する日本のR&Dリーダーや、戦略的視点を持つ経営層とともに、その実現に向けた方向性を探ります。

データ蓄積の「器」から、推論する「知能」へ

単なる「デジタル化」を超え、実験プロセスとAIを高度に融合し、データから戦略的示唆を導き出す新たな研究手法に焦点を当てます。ツールの導入にとどまらず、研究プロセスや意思決定フロー、そして知識の蓄積・活用の在り方そのものを再設計する視点を提示します。

■注目のプログラムと登壇者

本イベントでは、日本の R&D 変革を牽引するフロントランナーによる 3 つの基調講演を実施します。

基調講演 1：研究開発はなぜ DX で変われなかったのか

—— Knowledge と Intelligence のデカップリングという未踏の課題（仮）

和泉 憲明 氏（博士(工学)）

株式会社 AIST Solutions Vice CTO 兼 デジタル庁 シニアエキスパート



「2025 年の崖」問題の提起者である和泉氏が、デジタル産業革命の 100 年を俯瞰し、R&D 組織が直面する構造的矛盾に切り込みます。研究者個人に属人化している「Intelligence（問いを生成し知を組み替えるプロセス）」をいかに組織として設計・運用すべきかという観点から、ベテランの退職と共に失われる「Intelligence の揮発」という課題に対し、AI レディな組織への転換条件を構造的に論じます。

基調講演 2：レゾナックにおける R&D DX の挑戦 — データ駆動型研究開発による価値創造 —

福島 正人 氏

株式会社レゾナック・ホールディングス 執行役員 CTO



素材化学業界の変革を牽引するレゾナック社が実践する、データとデジタル技術を高度に融合した科学的 R&D DX をご紹介します。材料開発における価値創造を加速させ、グローバル競争で勝つための R&D 変革に向けたリアルな洞察を共有します。

エンソート セッション : Intelligence at Scale: エージェント型 AI 時代の R&D

エリック・ジョーンズ博士 (Eric Jones, PhD)

Enthought Inc. 創業者 兼 最高経営責任者



今日の科学技術計算のデファクトスタンダードとなっている「Scientific Python (SciPy)」エコシステムの創設者の一人として、世界中のサイエンティストから「SciPy の父」と呼ばれているエリック・ジョーンズ博士。材料科学・化学 R&D における新たなパラダイム「Intelligence at Scale (知のスケール化)」を提示。各社独自の組織的知見・企業知と、LLM やエージェント型 AI を融合し、信頼性の高い成果を生み出す実践的アプローチを解説します。さらに、科学的発見とイノベーションを加速するための指針を示します。

パネルディスカッション : ヤング・リーダー・セッション

「R&D 変革を次世代へつなぐ」をテーマに、次世代リーダーが登壇。科学的 R&D 変革をどのように推進し、持続させていくのかについて議論します。

会社概要

エンソート合同会社

科学分野のデジタルトランスフォーメーションを推進し、独自の技術と深い科学的専門知識で、半導体、電子部品、材料設計、製薬、エネルギー等の各業界における迅速な発見と継続的な革新を支援しています。2001 年の設立以来、科学者がデジタルを駆使して価値創出の促進者となるためのツールやスキルを提供し続けています。 <https://enthought.jp/>

株式会社化学工業日報社

東京都中央区日本橋浜町 3-16-8

代表取締役社長：佐藤 豊

<https://www.chemicaldaily.co.jp/>

化学工業日報・電子版

<https://chemicaldaily.com/>

お問い合わせ先

株式会社化学工業日報社

営業部（企画）2026 R&D イノベーションサミット担当

明畷・渡邊・田中

03-3663-7936

event@chemicaldaily.co.jp